

Israel Monthly Trends

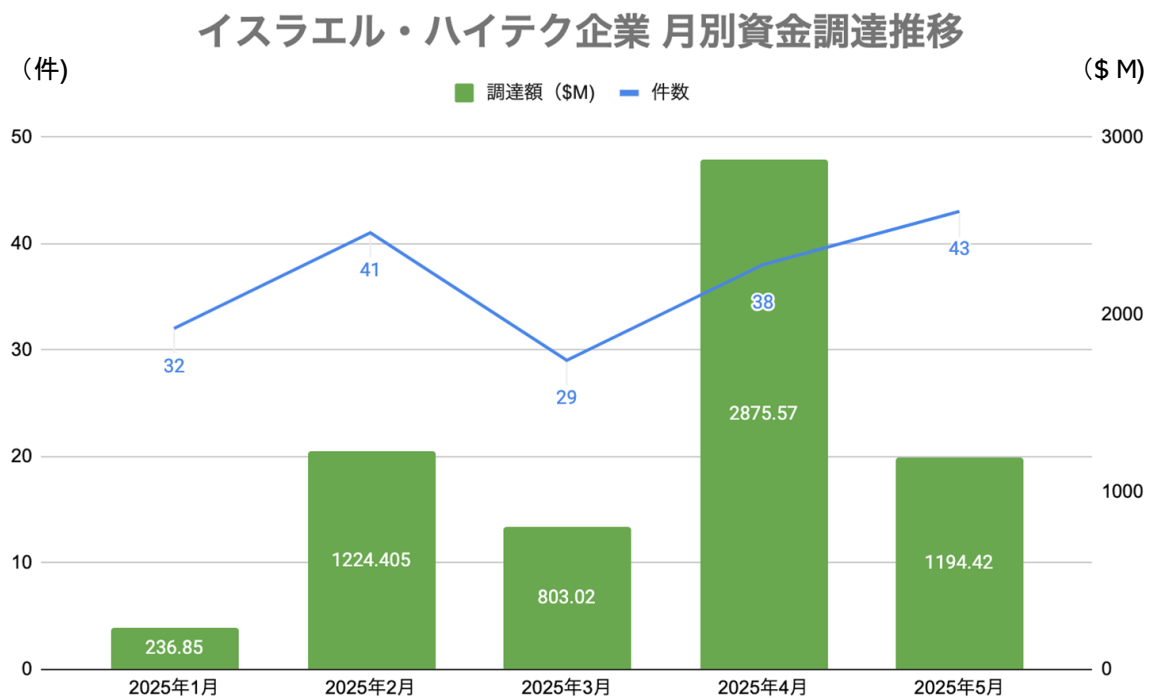
2025年6月

目次

- | | |
|-----------------------------|-----|
| 1. イスラエルの現在の状況_5月 | p.2 |
| 2. 今月の注目テーマ： コールドチェーン | p.3 |
| 3. コールドチェーンに関連する
スタートアップ | p.4 |

1. イスラエルの現在の状況_5月

IVCのデータによると、イスラエルのハイテク企業は2025年4月16日から5月15日までの期間に、43件の取引を通じて総額11億9,442万ドルを調達した。前回（3月16日から4月15日）の資金調達に比べて、案件数は増加したが、調達総額は減少した。



出典：IVC Data（2025年5月16日アクセス）、Jakore作成

本レポートは毎月25日頃に発行されるため、毎月のデータ収集期間は前月16日から当月15日までとなる。

2025年4月から5月上旬にかけて、複数の企業がさまざまな資金調達ラウンドで成功を収めた。ハードウェア・産業分野のFlow社は、シリーズBラウンドで1億ドルを調達した。エンタープライズソフトウェア・インフラ分野では、Orca AI社がシリーズCラウンドで7,250万ドル、AI21社がシリーズDラウンドで3億ドルの資金を確保したほか、Classiq社もシリーズCラウンドで1億1,000万ドルを調達した。

2. 今月の注目テーマ：コールドチェーン

コールドチェーンは、医薬品や食品、化学品など温度管理が不可欠な製品を、製造から最終消費に至るまで一貫して適切な温度で輸送・保管する物流システムだ。生鮮品の需要増加や技術革新、規制強化、Eコマース拡大が市場成長をけん引する。製品の品質と安全性を保つには、リアルタイム監視や自動化技術の活用が不可欠とされている。

イスラエルは、革新的な技術と活発なスタートアップエコシステムを背景に、コールドチェーン分野で目覚ましい進展を見せている。特にサプライチェーンのデジタル化と食品鮮度管理における技術力と市場貢献は際立っている。

主要な取り組みと成果

コールドチェーンの効率性と透明性を高める具体的なソリューションを提供し、国内外で高い評価を受けるイスラエルのスタートアップ企業は次の2社だ。

- **Sensos社によるサプライチェーンのデジタル化**：コールドチェーン向け超薄型電子ラベルでサプライチェーンのデジタル化を推進。リアルタイム追跡で出荷・在庫管理を最適化し、手動チェック不要で効率を大幅に向上させる。2024年2月、日本の三井物産が支援するベンチャーキャピタルなどから2,000万ドルを調達した。
- **Evigence社によるリアルタイム鮮度データソリューション**：食品向けリアルタイム鮮度データソリューション「Freshness Management System」を提供している。これは、センサーとデータ分析を統合したコールドチェーン技術で、サプライチェーン全体の食品鮮度を単位レベルで監視・管理する。食品の安全性向上と廃棄削減に大きく貢献しており、2023年1月には1,800万ドルを調達済みだ。

今後の展望

これらのイスラエルのスタートアップ企業が示す成功は、コールドチェーン分野における今後の発展を示唆する。特にEvigence社による大手企業との連携拡大は、同社の技術がより広範な市場に浸透し、業界全体の標準となる可能性を秘めている。

今後もイスラエルはAI、IoT、センシング技術を活用した先進的なコールドチェーンソリューションの開発において、国際的にリードする存在であり続けると予想される。このような技術革新は、世界的な生鮮品の需要増加や食品安全規制の厳格化に対応し、コールドチェーン市場のさらなる成長を加速させることが期待される。

出典：

[Cold Chain Logistics Market by Service Types, Temperature Range, End-Use - Global Forecast to 2030](#)

[Sony Semiconductor Israel Spinoff Lands \\$20M For Supply Chain Digitization](#)

[Evigence raises \\$18 million in Series B funding for its real-time freshness data solution](#)

3. コールドチェーンに関連するスタートアップ

● Wiliot Ltd.

(<https://www.wiliot.com/>)



Wiliot社は、環境発電型IoTソリューションのパイオニアである。バッテリーや手動スキャン、複雑なインフラを必要とせず、日常の製品や包装に貼り付けることで、リアルタイムでの自動追跡・監視を実現する。在庫管理、ワークフロー管理、輸送中の生鮮品モニタリングなど多岐にわたるビジネスアプリケーションに対応。同社のシステムは、IoTタグ、リーダー、クラウド上のAIプラットフォームの3つのコンポーネントで構成されている。この技術は、物理世界をデジタル世界に繋ぐことで、物流効率を飛躍的に向上させる。

● BlueCircle Ltd.

(<https://bluecircle.ai/>)



BlueCircle社は、食品・飲料サプライチェーン向けのAIベース最適化ソリューションを提供する。農産物の投入から消費者への配送まで、サプライチェーン全体のデータを統合・分析し、効率向上、廃棄削減、収益改善を支援する。プラットフォームはエンドツーエンドの可視性とリアルタイム監視を提供し、天候変化や物流リスクへの迅速な対応を可能にする。デジタルツイン技術で仮想モデルを構築し、リスクなしにシナリオをシミュレートして業務を最適化。既存システムとのAPI連携や迅速な導入、高い拡張性も特徴だ。

● Flymingo Innovations Ltd.

(<https://www.flymingo.ai/>)



Flymingo Innovations社は、倉庫・物流業務向けのAI駆動型コンピュータービジョンソリューションを専門とする。倉庫管理システム（WMS）と既存の監視カメラ映像データを組み合わせることで、エンドツーエンドの可視性を実現する。これにより、ピッキングや梱包、パレット移動など、あらゆる業務プロセスのリアルタイムおよび遡及（そきゅう）分析が可能になる。サプライチェーンのミスを防ぎ、在庫管理の最適化、業務効率の大幅な向上に貢献する技術だ。